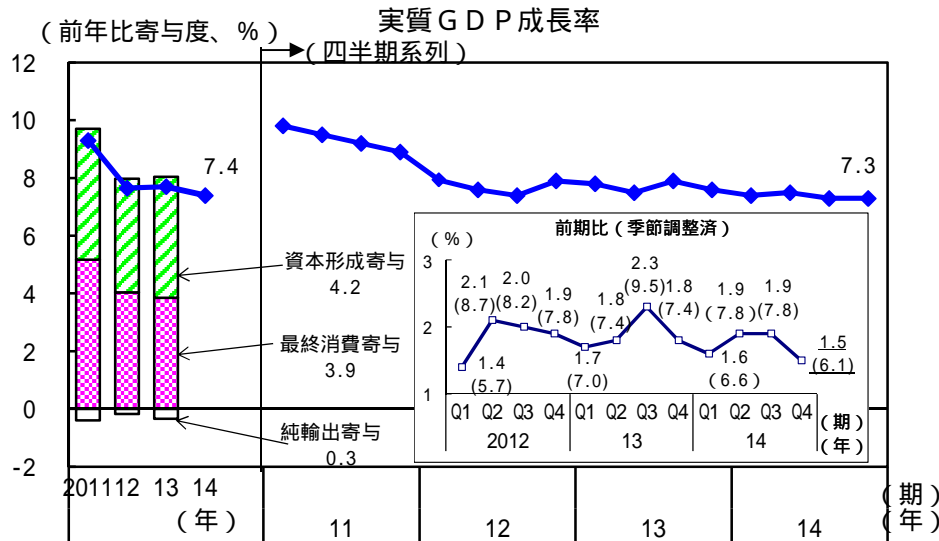


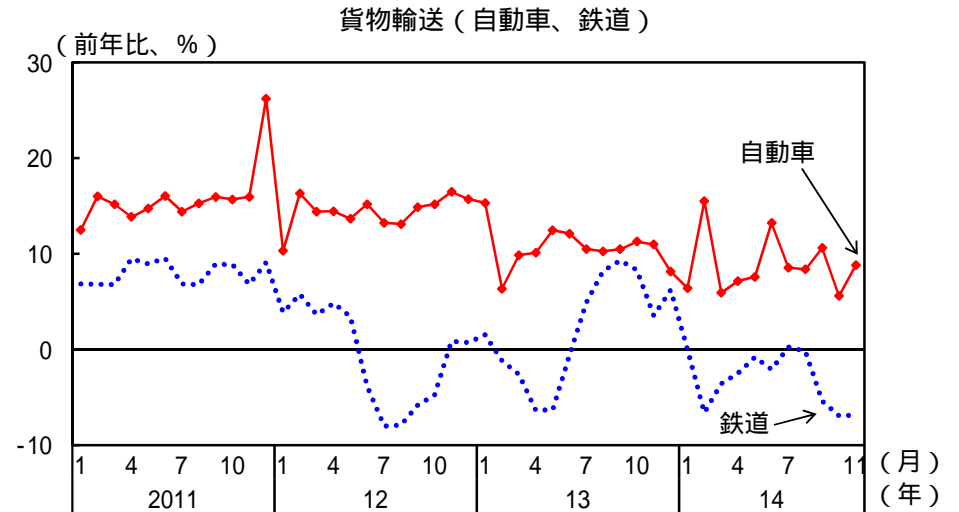
2. アジア地域

中国：

中国では、景気の拡大テンポは緩やかになっている。

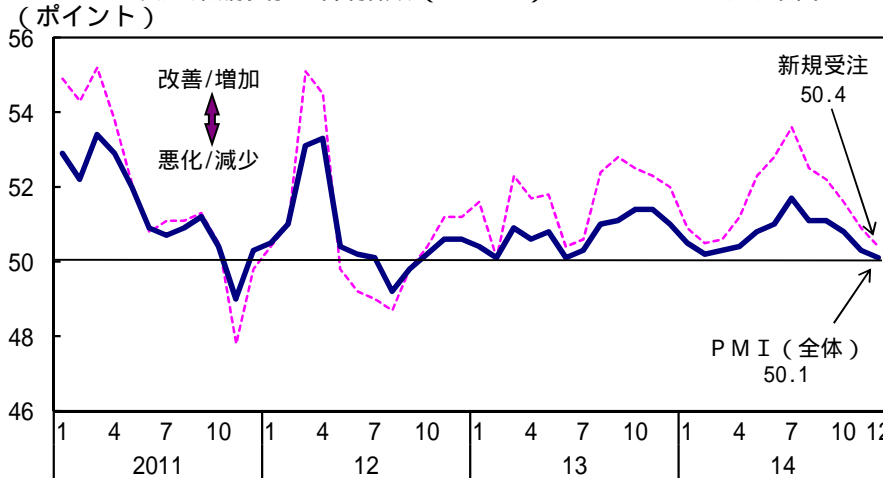


(備考) 前期比のグラフの () 内の数値は内閣府試算による前期比年率。

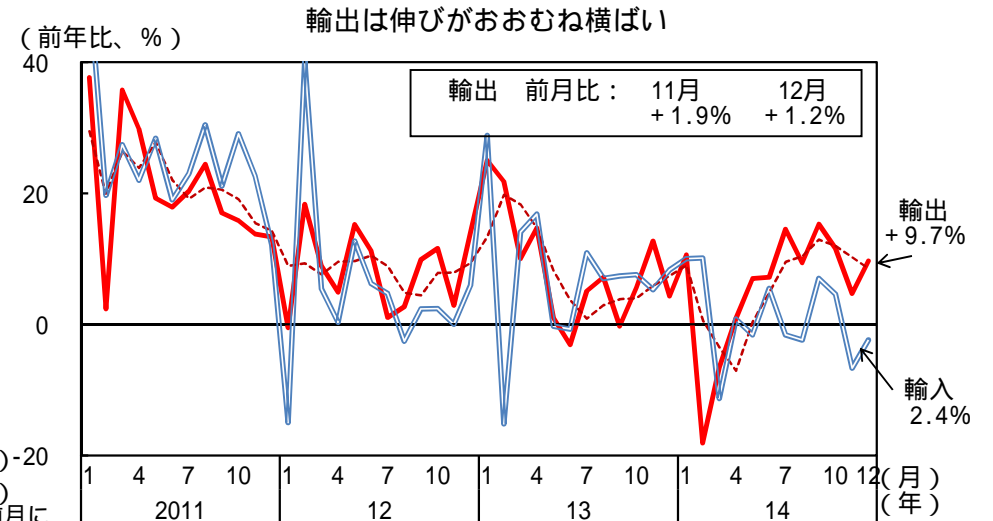


(備考) 1. 輸送量ベースの前年比。
2. 14年以降の自動車輸送量の伸びについては、当局発表の累計の伸びを元に当室試算。

製造業購買担当者指数 (PMI) はこのところやや低下

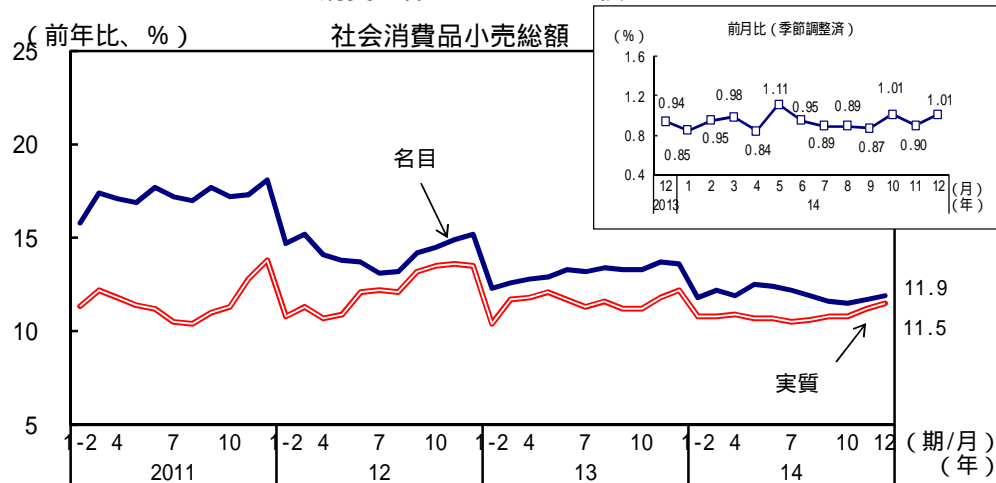


(備考) 国家統計局では、製造業の業況に関わる11の項目について企業調査を行い、各々が前月に比べてどう変わったのかを集計。全体は、生産高、新規受注、原材料在庫、雇用、サプライヤー納期の5つの指標から合成される。50より高ければ、「改善/増加」と回答した企業の割合が多いことを表す。13年1月より、統計対象社数に変更があったため、厳密には13年1月前後では接続しない。



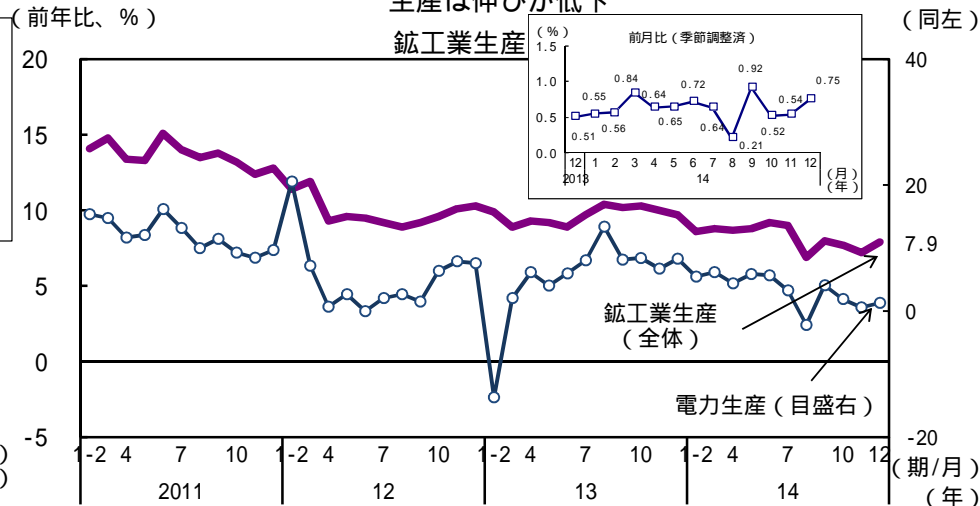
(備考) 1. 輸出入とも実額の前年比 (実線)。点線は輸出の3か月移動平均。
2. 春節(旧正月)休暇は、12年1月22~28日、13年2月9~15日、14年1月31日~2月6日、15年2月18~24日。

消費は伸びがおおむね横ばい

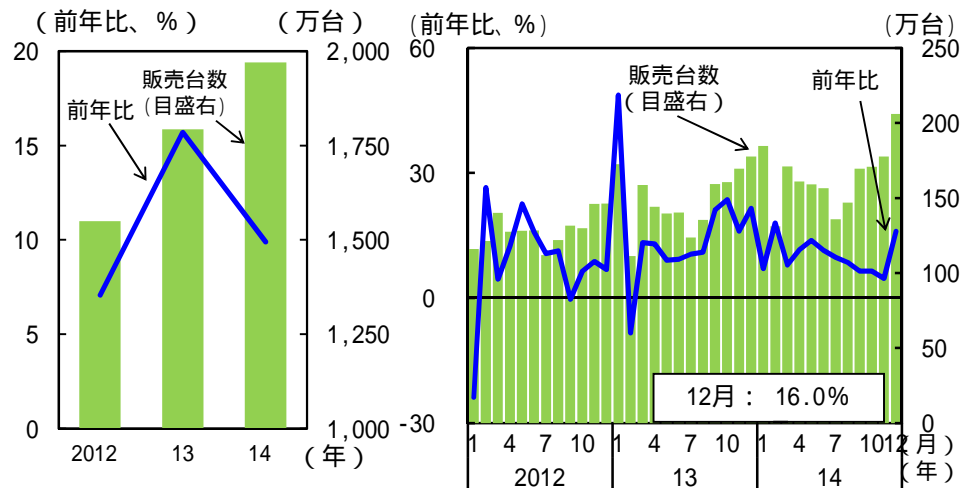


(備考) 1. 実質伸び率は、11年8月までは小売物価指数を用いて試算。9月以降は国家统计局公表値。
 2. 中国では、消費刺激策として農村における家電の普及政策(「家電下乡」)の全国展開(09年2月~13年1月)、省エネ家電購入に対する補助金支給(12年6月~13年5月)小型の低燃費車購入に対する補助金支給(10年6月~13年9月、11年10月より一部基準を厳格化)が実施されていた。

生産は伸びが低下

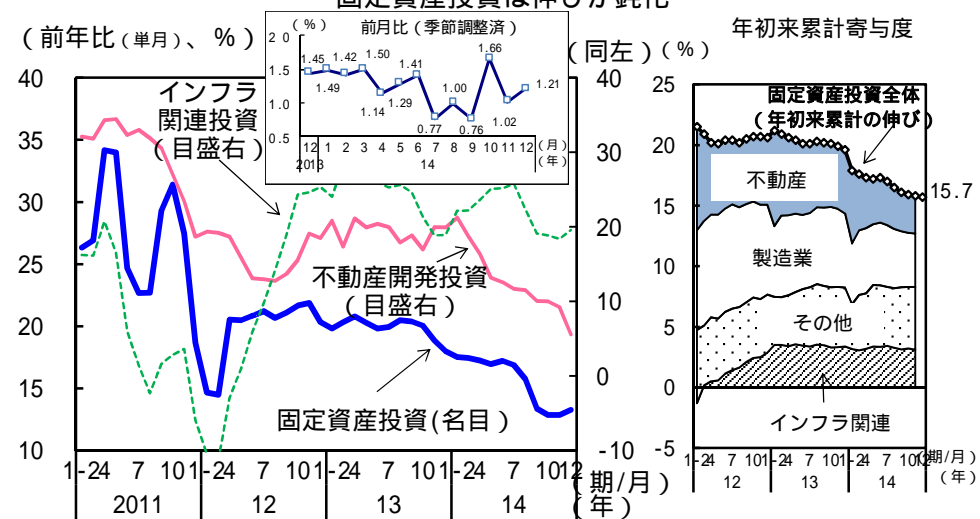


乗用車販売台数は伸びがこのところ持ち直し



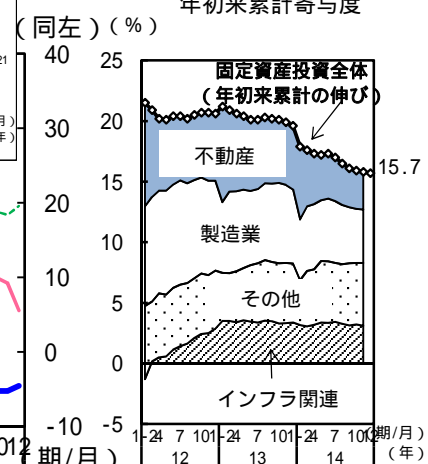
(備考) 春節(旧正月)休暇は、12年1月22~28日、13年2月9~15日、14年1月31日~2月6日。

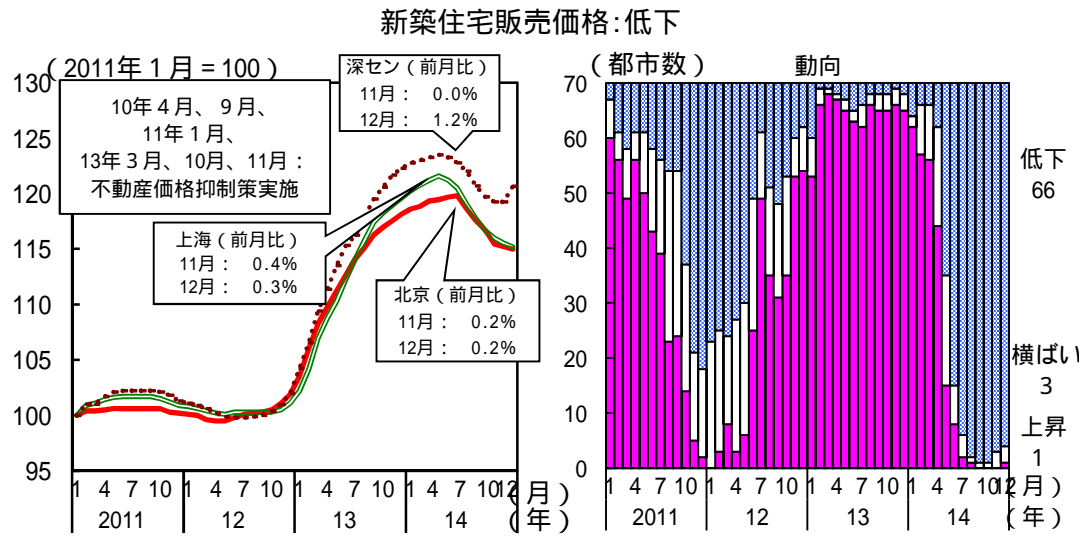
固定資産投資は伸びが鈍化



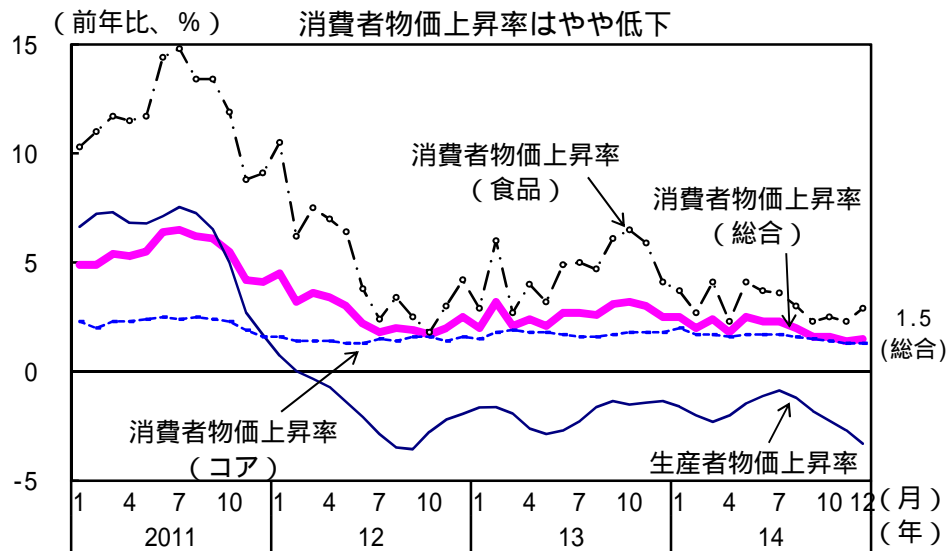
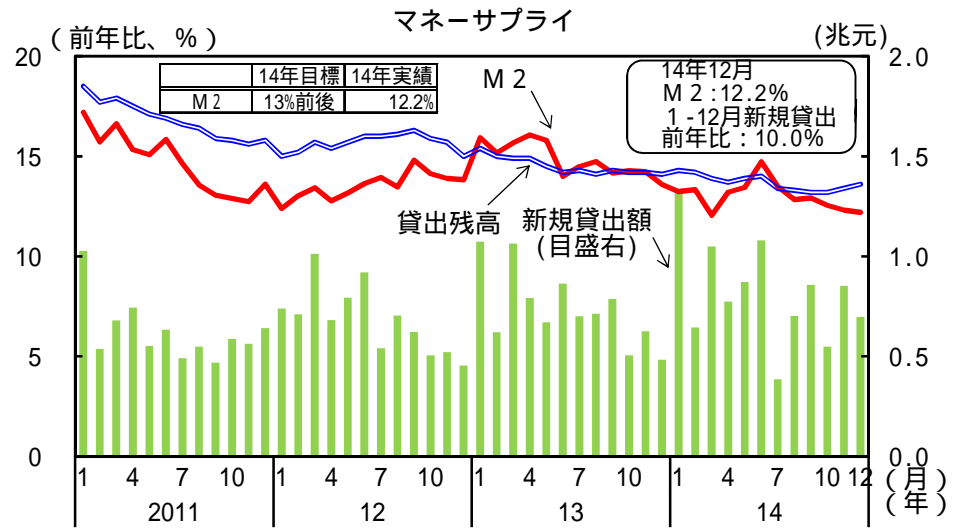
(備考) インフラ関連投資は、道路、ダム、鉄道等の投資額を合算したもの。また、いずれも単月試算値の3か月移動平均の前年比。

年初来累計寄与度

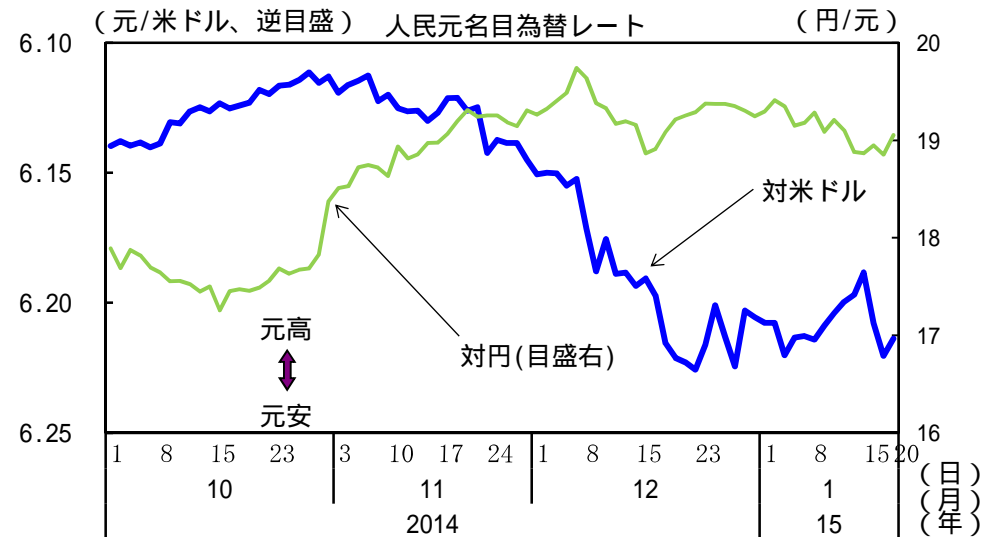




(備考) 価格水準は、11年1月の1㎡当たりの価格を100として指数化。動向は、前月比でプラスの都市を「上昇」、±0.0%の都市を「横ばい」、マイナスの都市を「低下」とした。



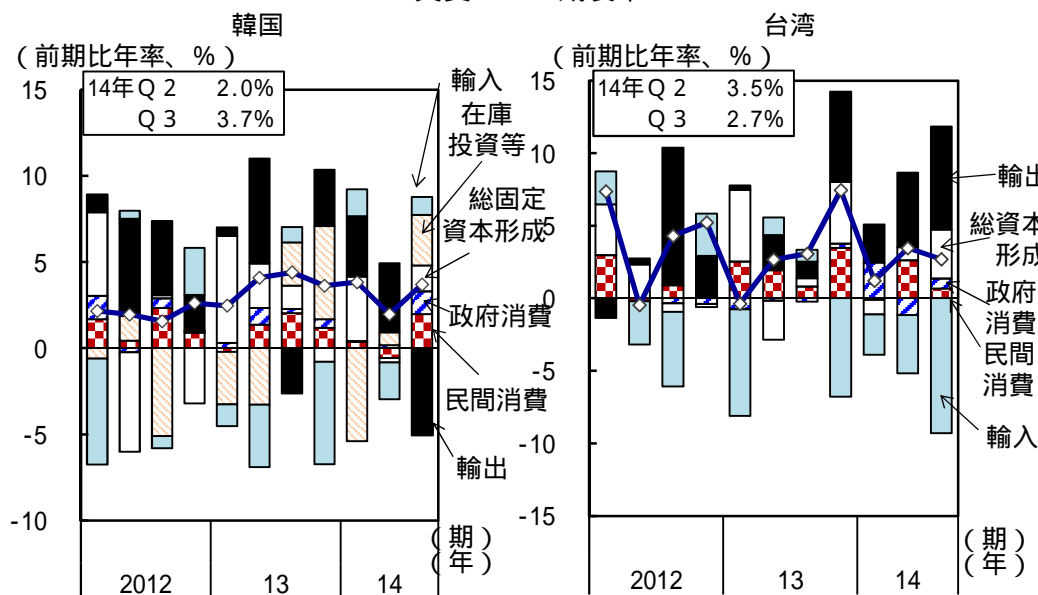
(備考) コア消費者物価は、総合から食品とエネルギーを除いたもの。



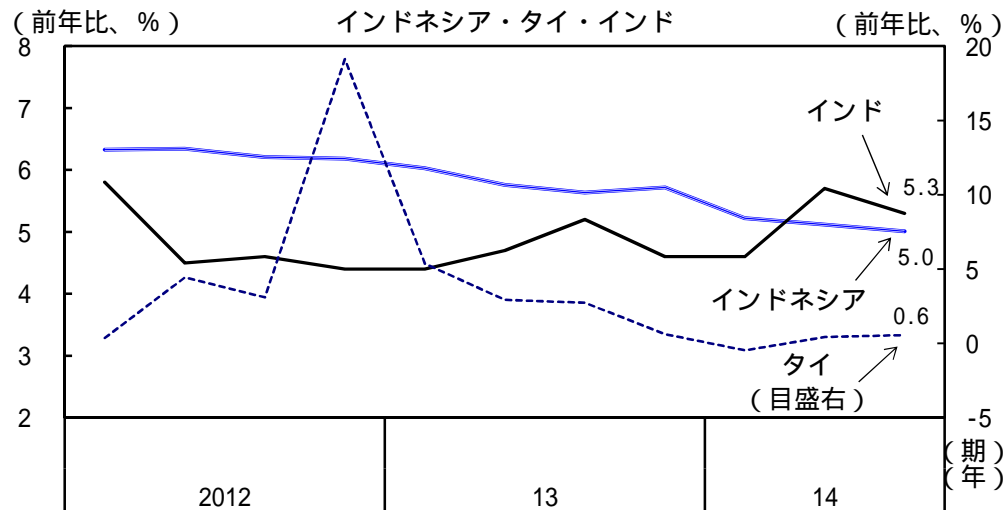
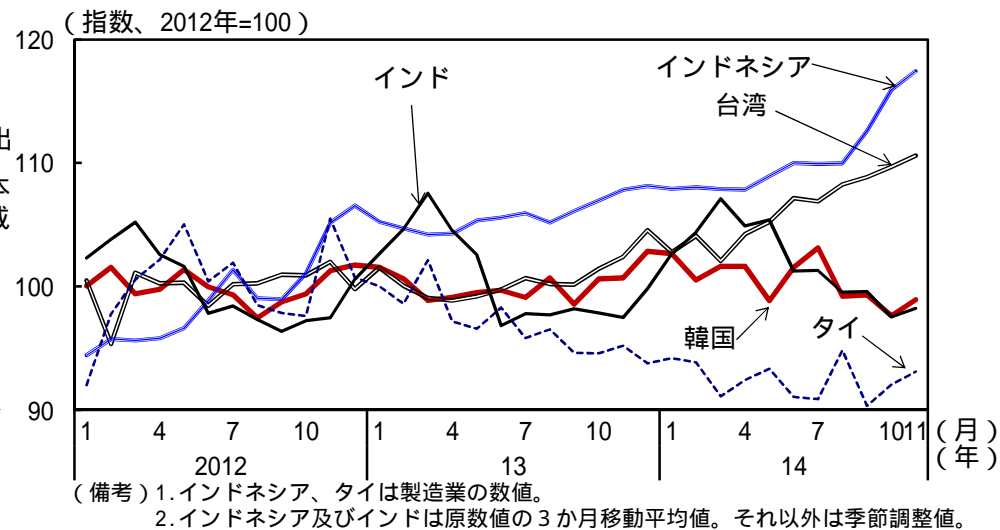
その他アジア（韓国、台湾、インドネシア、タイ、インド）：

韓国では、景気は持ち直しの動きが緩やかになっている。台湾では、景気は緩やかに回復している。インドネシアでは、景気の拡大テンポは鈍化している。タイでは、景気は弱い動きとなっている。インドでは、景気は持ち直しの動きがみられる。

実質GDP成長率



鉱工業生産



輸出数量

